

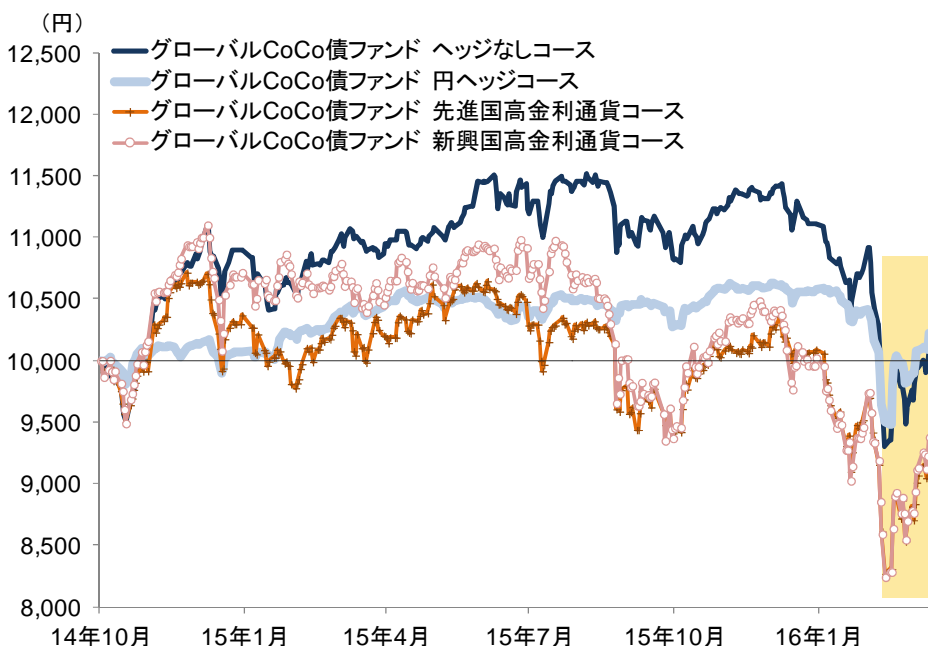
本資料では、当ファンドのパフォーマンスについてお伝えするとともに、投資環境につきましてご紹介させていただきます。

基準価額の動向

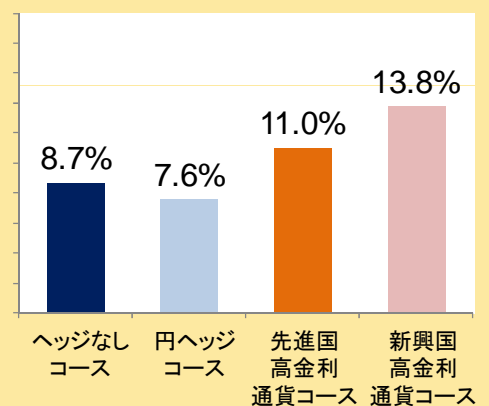
**CoCo債の2月中旬以降の価格反発を受け
基準価額は4コースすべて上昇傾向に**

- 2月中旬以降の金融市場は、投資家のリスク回避姿勢の和らぎなどから、落ち着きを取り戻す展開となっています。
- このような中、CoCo債が大きく値を戻したことに加え、為替市場で円高の進行に一旦歯止めがかかったことから、当ファンドの基準価額は4コースとも上昇傾向となりました。

設定来の基準価額(税引前分配金再投資ベース)の推移
(2014年10月1日(設定日)～2016年3月11日)



2月12日以降の騰落率*
(2016年2月12日～2016年3月11日)
* 税引前分配金再投資ベース



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

市場動向①
CoCo債
について

投資家心理の改善などを受け、2月中旬以降 CoCo債の価格は大きく反発

■ ドイツ大手銀行の債券について、業績不振に伴う利払い停止観測が浮上したことなどを背景に、CoCo債の価格は2月に入り大きく下落したものの、中旬以降は上昇傾向となっています。これは、同大手銀行が、2月8日、同行が発行するCoCo債について、2016年、2017年のクーポン支払能力が十分である旨*を発表したこと、さらに12日に、同行発行のCoCo債以外の債券について約6,000億円規模の買戻し計画を発表したことなどに伴ない、市場の不安心理が後退したことが背景と考えられます。また、原油価格の上昇傾向などを背景に投資家心理が改善したことも影響したとみられます。

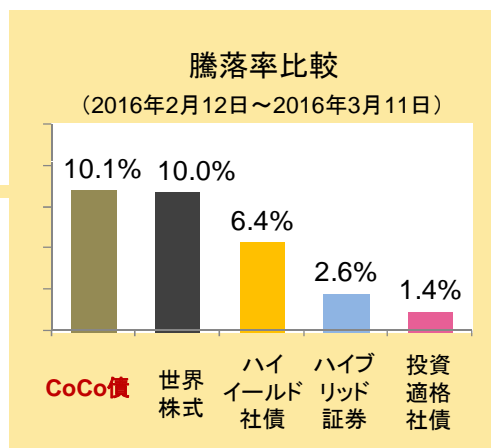
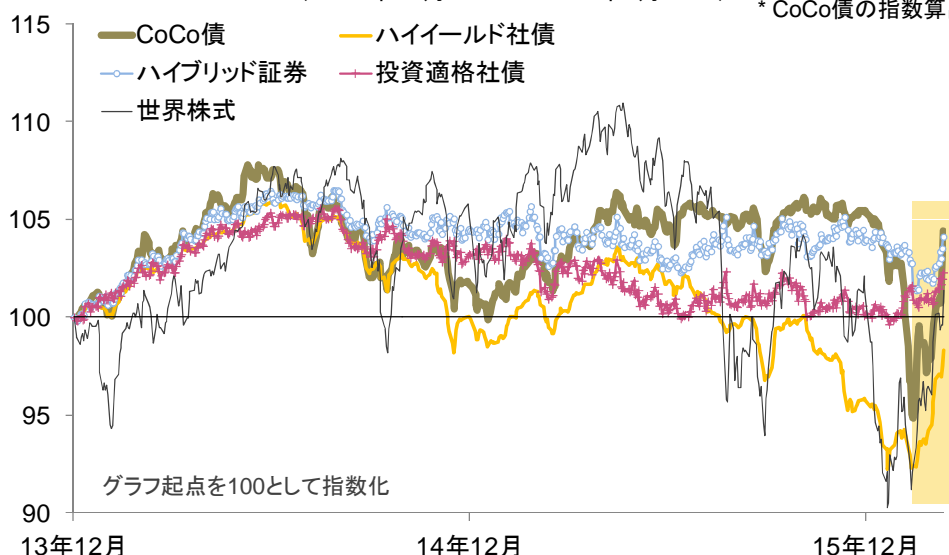
* 2016年4月30日のCoCo債の利払いが約3.5億ユーロと見込まれる中、推定で、2016年は約10億ユーロ、2017年は約43億ユーロの支払い能力があることを発表。

■ 同大手銀行が発行するCoCo債について、利払い原資(本来、非開示項目)が不足するとの見方が広がった背景には、同行が発表した2015年10-12月期決算の純利益が2期連続で赤字となったほか、2015年通期でも赤字となったことなどが挙げられます。また、CoCo債が複雑な商品性を有していることもあり、市場で不安が不安を呼ぶ状況になったと考えられます。

■ 2月中旬以降のCoCo債の価格反発は、市場が冷静さを取り戻す中、利回り水準の魅力と割安感などが相まって、財務体質が健全であると判断される銘柄を中心に、投資家の買い戻しの動きが広がったためと考えられます。また、3月10日にECB(欧州中央銀行)が包括的な金融緩和策を発表したことを受け、投資家心理が改善したことも支援材料になったとみられます。

主な指数(米ドルベース)の推移
(2013年12月31日*~2016年3月11日)

* CoCo債の指数算出開始日



CoCo債 : BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス
 ハイイールド社債 : BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド・インデックス
 ハイブリッド証券 : パークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター・インデックス
 投資適格社債 : パークレイズ・グローバル・アグリゲート・コーポレート・インデックス
 世界株式 : MSCI AC ワールド指数(トータルリターン)

※上記は、当ファンドのベンチマークではありません。 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
 ※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

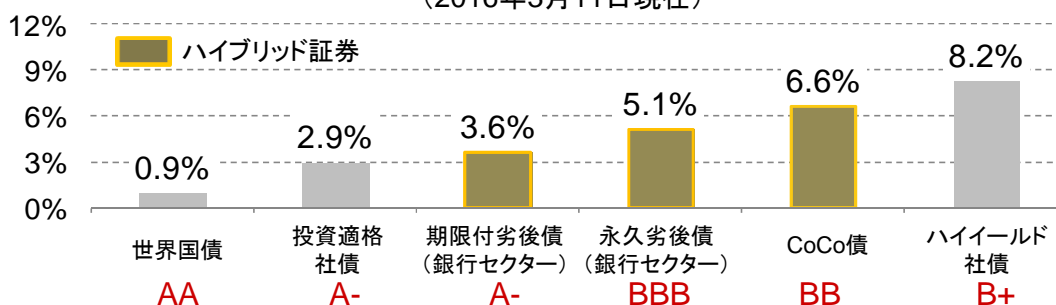
■当資料は、投資者の皆様にご理解を促す「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

CoCo債投資の魅力

相対的に利回り水準の高い投資対象であるということ

CoCo債は、同一発行体の普通社債や劣後債などと比べて利回り水準が高い傾向にあります。これは、発行体である金融機関の自己資本比率があらかじめ定められた水準を下回った場合などにおいて、元本の一部または全部が削減される、または、強制的に株式に転換されるなど、従前のハイブリッド証券(株式と債券の特徴を併せ持つ証券)と比べ複雑な仕組み(トリガー)を有していることなどが背景となっています。

＜主な指数の利回り＞
(2016年3月11日現在)



※使用した指数については、5ページでご確認ください。

※上記格付は、いずれも、公表されているものを日興アセットマネジメントがS&Pの格付表記に置き換えて掲載しています。

なお、パークレイズの指数の格付は、パークレイズが公表している指数の平均格付のうち高い方を掲載しています。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

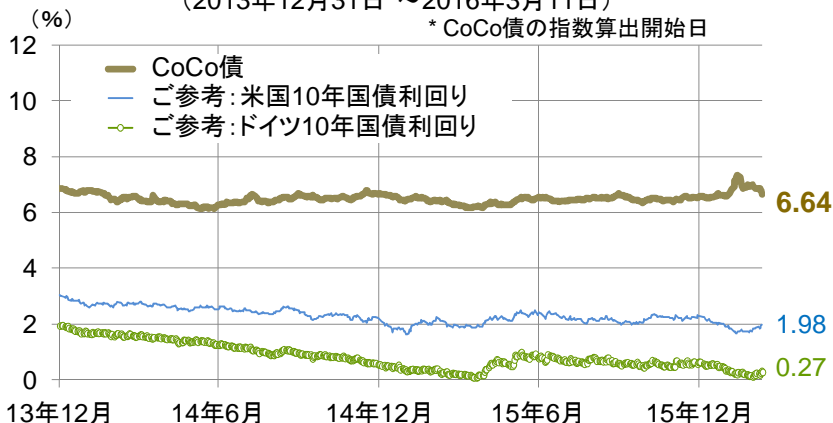
ユーロ圏に続き、日本においてもマイナス金利が導入されるなど、世界的に低金利環境が継続する中、機関投資家を中心に、より高い利回りを求める「サーチ・フォー・イールド(利回り追求)」の動きが広がっているものの、利回りの確保はますます困難になっていると言えます。

このような中、CoCo債は、今後も、利回り水準の高さを魅力として投資家の注目を集めると考えられます。国際的な規制強化の動きを背景に、欧州の金融機関の財政基盤は、リーマン・ショック時と比べて強化されています。投資に当たっては、商品性の理解は必須であり、選別眼が求められるとみられるものの、CoCo債は利回りを追求する投資家にとって、引き続き魅力的な投資対象と考えられます。

CoCo債の利回りの推移

(2013年12月31日*~2016年3月11日)

* CoCo債の指数算出開始日



CoCo債 : BofAメリルリンチ・コンティジェント・キャピタル・インデックス

ご参考: 欧州の主要国の中期国債利回り

(2016年3月11日)

	2年国債利回り	5年国債利回り
ドイツ	-0.46%	-0.27%
フランス	-0.41%	-0.15%
オランダ	-0.44%	-0.29%
ベルギー	-0.40%	-0.22%
スペイン	0.00%	0.39%
イタリア	-0.05%	0.32%
スイス	-0.94%	-0.73%
フィンランド	-0.37%	-0.14%
デンマーク	-0.23%	0.08%

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご覧いただき「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの実質的な運用は、 CoCo債投資において先駆的な運用会社として知られる アルジェブリス社が行なっています。

- アルジェブリス・インベストメンツ(UK)エル・エル・ピー(アルジェブリス社)は、2006年に設立された英国の資産運用会社です。世界の金融機関が発行する証券の運用に特化しており、CoCo債投資においては、先駆的な運用会社です。
- 同社では、CoCo債が発行され始めた2009年からファンドへのCoCo債の組入れ実績があり、当ファンドの実質的な運用担当者は、金融セクターへの投資経験が豊富なだけでなく、CoCo債の商品性を熟知するエキスパートです。また、同社は銀行のバランスシート分析について専門性が高いことで知られており、当ファンドの実質的な運用を支える強みとなっています。

アルジェブリス社からのコメント

CoCo債の先行きに対する強気な見方を継続

CoCo債の発行体であるグローバル金融機関のファンダメンタルズは強固であることに加え、利回り面での魅力が高いことなどから、アルジェブリスは、CoCo債の先行きに対して強気な見方をしています。国際的な規制強化などを背景とした資本の質・量の向上などに伴ない、金融機関の信用力が高まっており、CoCo債の一部の銘柄では格付に改善もみられています。

2月上旬のCoCo債の価格下落は、市場のセンチメントが悪化する中、CoCo債のファンダメンタルズや商品性などについて正しく理解していない一部の投資家による売りが、さらなる売りと呼んだ結果とみています。投資家の中には、欧州の主要銀行による弱めの決算発表や、低金利環境が収益に及ぼす影響について過度に懸念している向きもあるものの、アルジェブリスでは、足元の状況は、欧米のトップクラスの銀行のCoCo債や劣後債などに割安な水準で投資を行なえる好機と捉えています。

今後とも、当ファンドをご愛顧いただけますよう、よろしくお願いいたします。



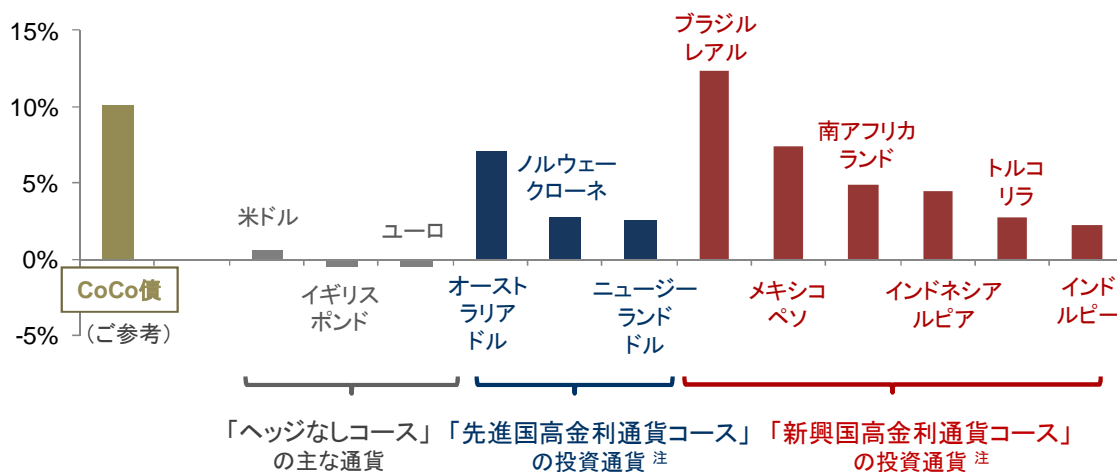
上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」の運用会社であるアルジェブリス・インベストメンツ(UK)エルエルピーからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。当コメントは、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

市場動向②
為替
について

原油価格の上昇傾向などを受け、足元では
資源国通貨が対円で上昇

- 年始から、投資家のリスク回避姿勢の強まりを背景に、安全資産とされる円に資金が流入し、主要通貨が対円で下落する展開となっていました。
- しかしながら、2月中旬以降は、投資家のリスク回避姿勢の和らぎや原油価格の反発などを受け、資源国通貨の上昇が目立つ状況となっています。なお、ブラジルレアルについては、国内政治情勢の改善期待なども背景となりました。

主な為替(対円)の騰落率
(2016年2月12日～2016年3月11日)



CoCo債 : BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス (米ドルベース)

注 設定以降、通貨の入替は行なっていません。

上記通貨の期間別騰落率
(2016年3月11日現在)

	米ドル	イギリスポンド	ユーロ	オーストラリアドル	ノルウェークロネ	ニュージーランドドル	ブラジルレアル	メキシコペソ	南アフリカランド	インドネシアルピア	トルコリラ	インドルピー
2016年2月12日～2016年3月11日	0.6%	-0.4%	-0.4%	7.1%	2.8%	2.5%	12.4%	7.4%	4.8%	4.5%	2.8%	2.3%
2015年末比 (2015年12月末～2016年3月11日)	-5.1%	-7.6%	-2.9%	-1.6%	-0.5%	-6.4%	4.6%	-8.0%	-3.9%	1.0%	-3.8%	-6.5%

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

【3ページで使用した指数について】

- 世界国債 : バークレイズ・世界国債インデックス
- 投資適格社債 : バークレイズ・グローバル・アグリゲート・コーポレート・インデックス
- 期限付劣後債(銀行セクター) : バークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター(Lower Tier2)インデックス
- 永久劣後債(銀行セクター) : バークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター(Upper Tier2)インデックス
- CoCo債 : BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス
- ハイイールド社債 : BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド・インデックス

※上記は、当ファンドのベンチマークではありません。

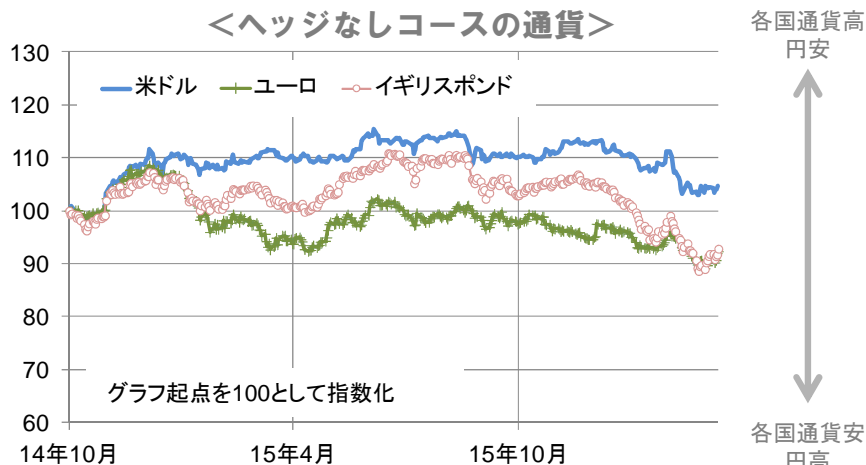
※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を促す「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

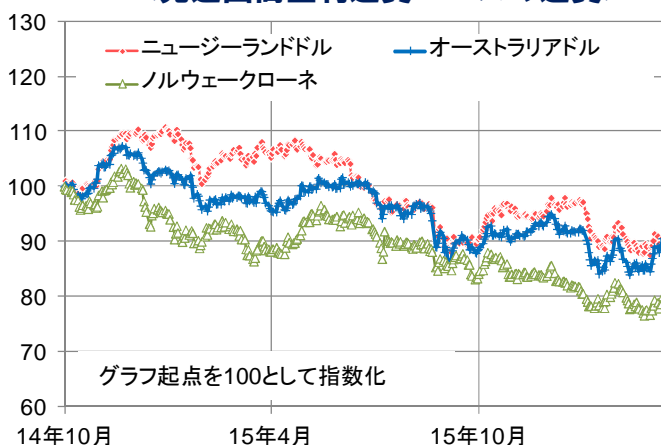
ご参考：為替(対円)の推移について

(2014年10月1日*~2016年3月11日)

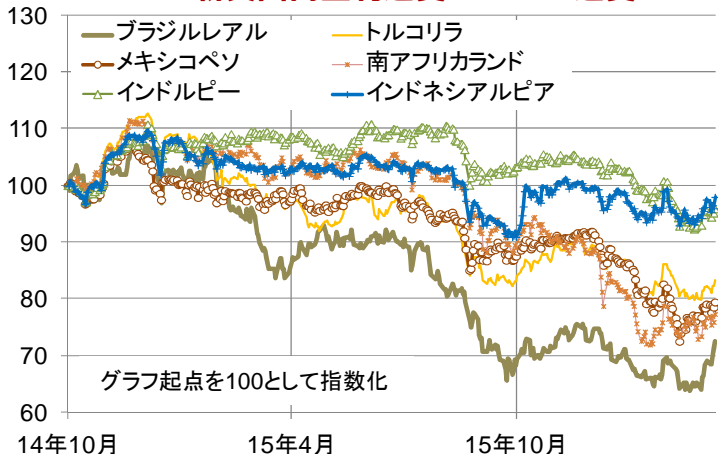
* 当ファンドの設定日



＜先進国高金利通貨コースの通貨＞



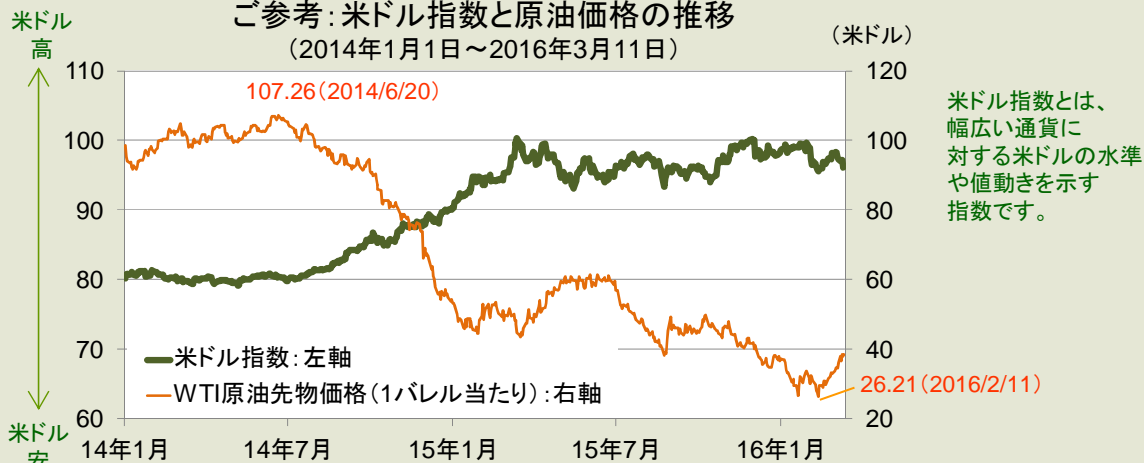
＜新興国高金利通貨コースの通貨＞



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

ご参考：米ドル指数と原油価格の推移

(2014年1月1日~2016年3月11日)

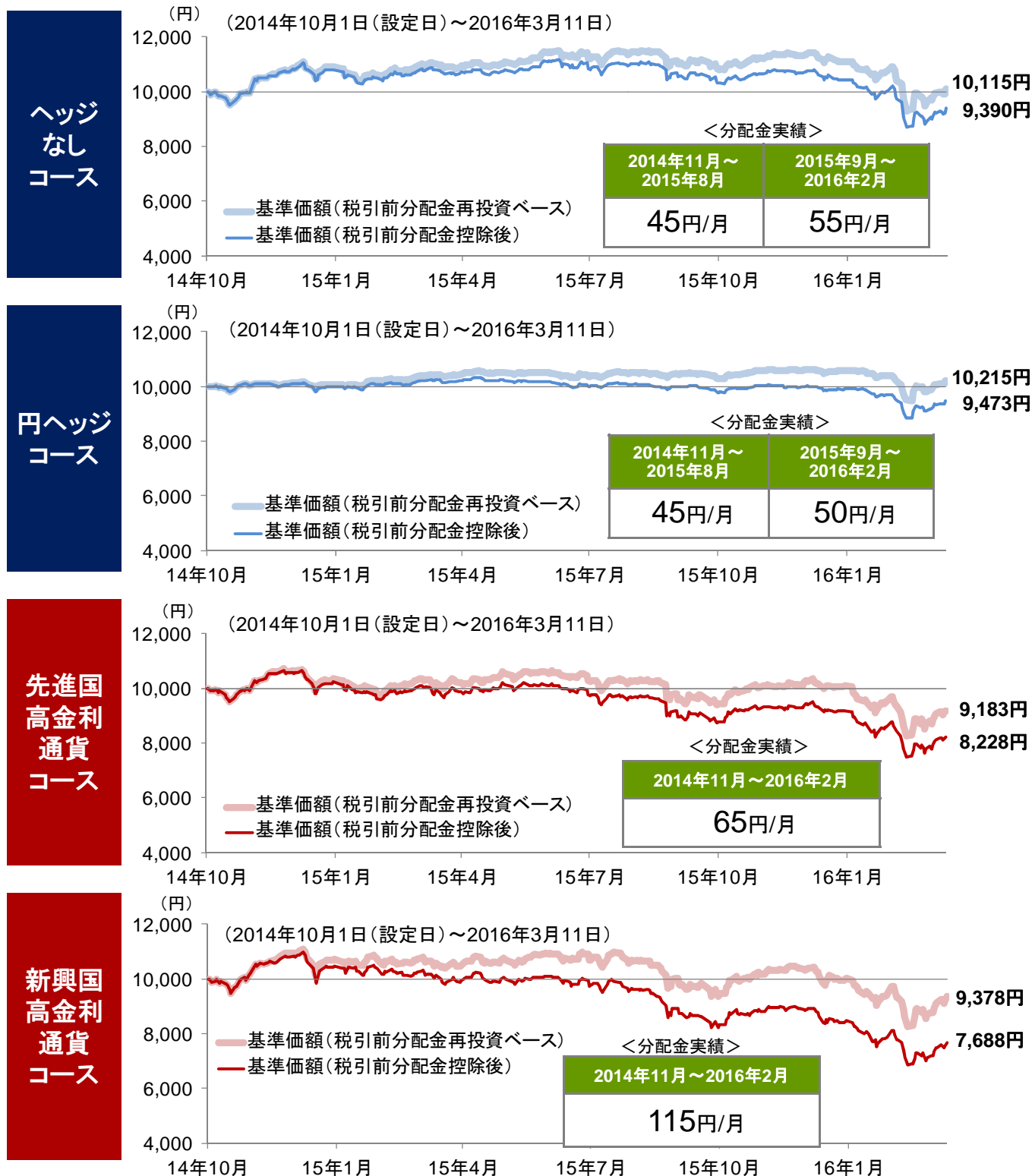


信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの運用実績

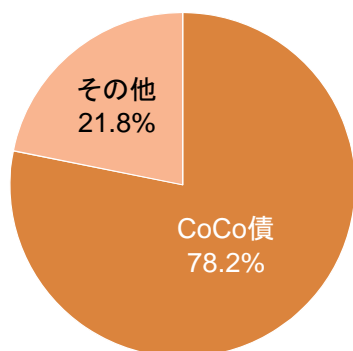


※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

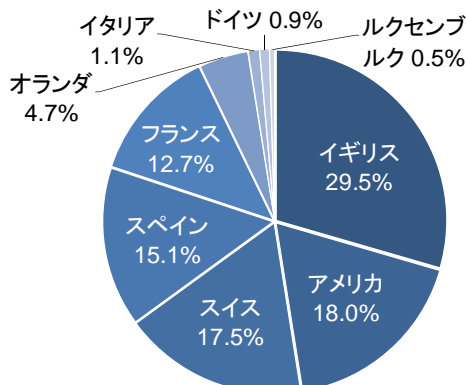
■当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概況 (2016年2月29日現在)

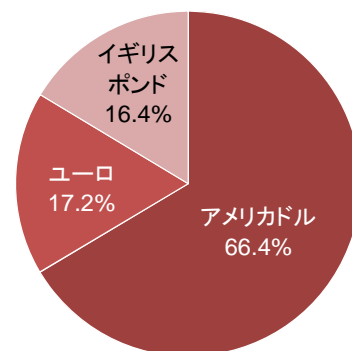
<証券種別構成比率>



<国別構成比率>



<通貨別構成比率>



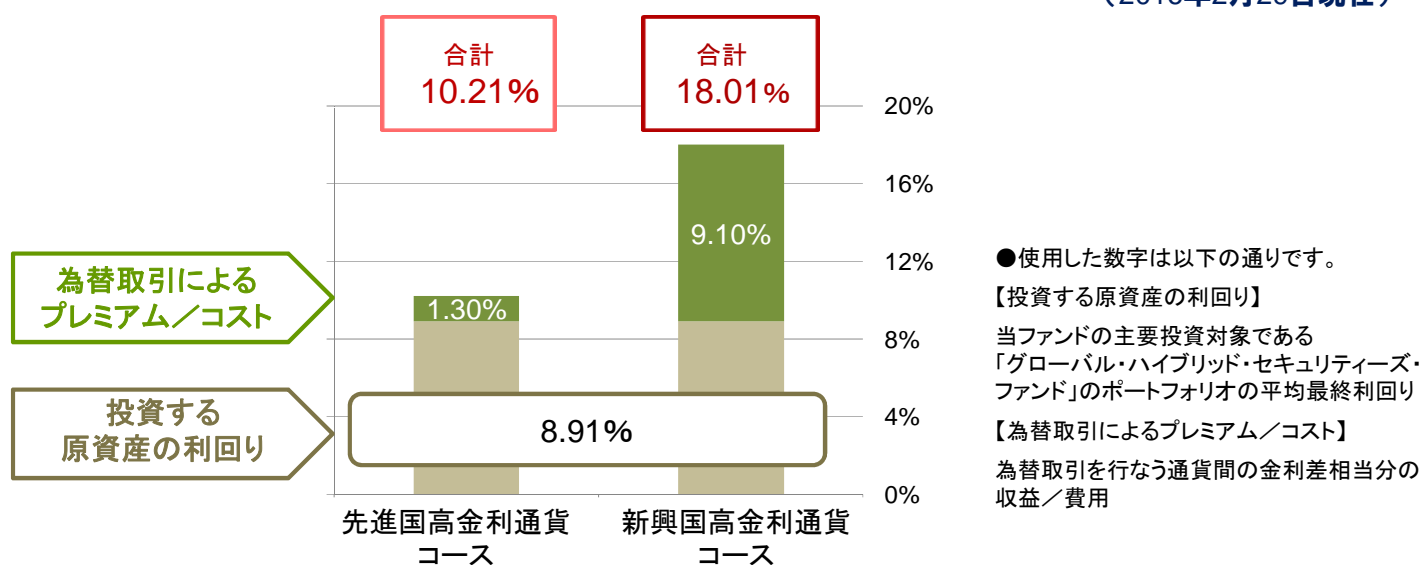
組入銘柄数	45銘柄	平均格付	BB+	平均最終利回り	8.91%	平均デュレーション	4.62年
-------	------	------	-----	---------	-------	-----------	-------

- ※ アルジェブリス・インベストメンツ(UK)エルエルピーより提供された情報です。
- ※ 当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」における数値です。比率は組入証券の時価総額に対する数値です。
- ※ 平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。
- ※ 平均最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。
- ※ 最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

ご参考：投資する原資産の利回りと為替取引によるプレミアム／コスト

～「先進国高金利通貨コース」および「新興国高金利通貨コース」～

(2016年2月29日現在)



●使用した数字は以下の通りです。
 【投資する原資産の利回り】
 当ファンドの主要投資対象である「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」のポートフォリオの平均最終利回り
 【為替取引によるプレミアム／コスト】
 為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益／費用

アルジェブリス・インベストメンツ(UK)エルエルピーより提供された情報に基づき日興アセットマネジメントが作成

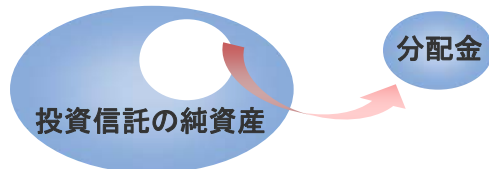
※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース／円ヘッジコース／先進国高金利通貨コース／新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

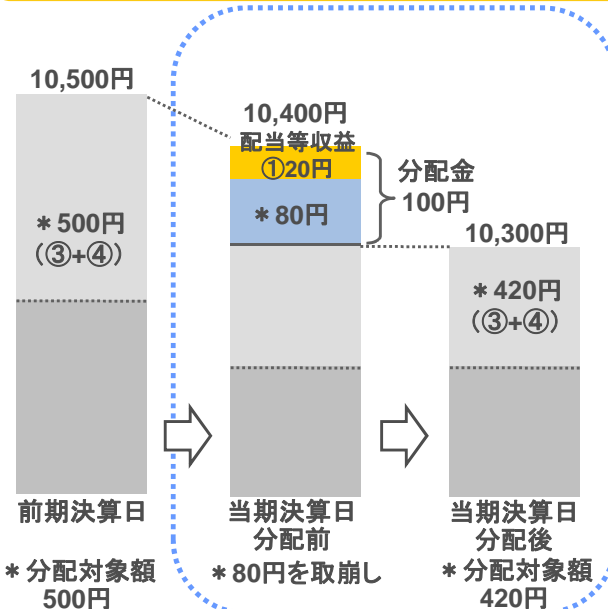
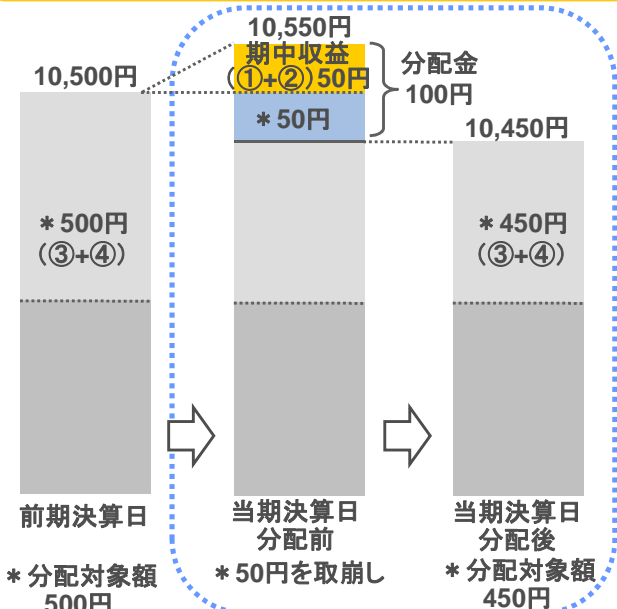


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



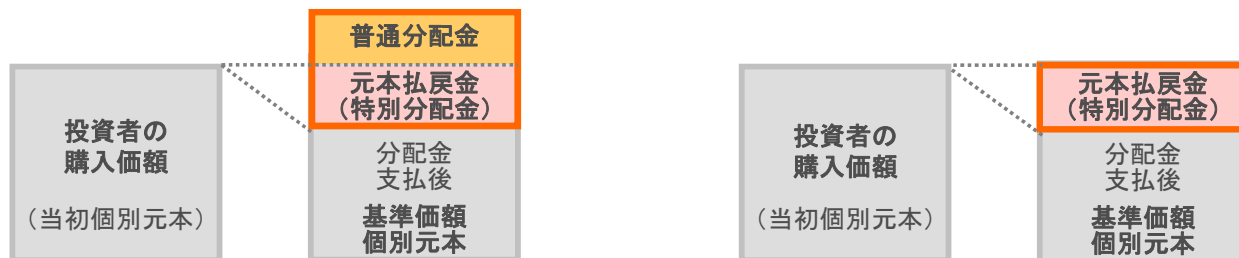
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

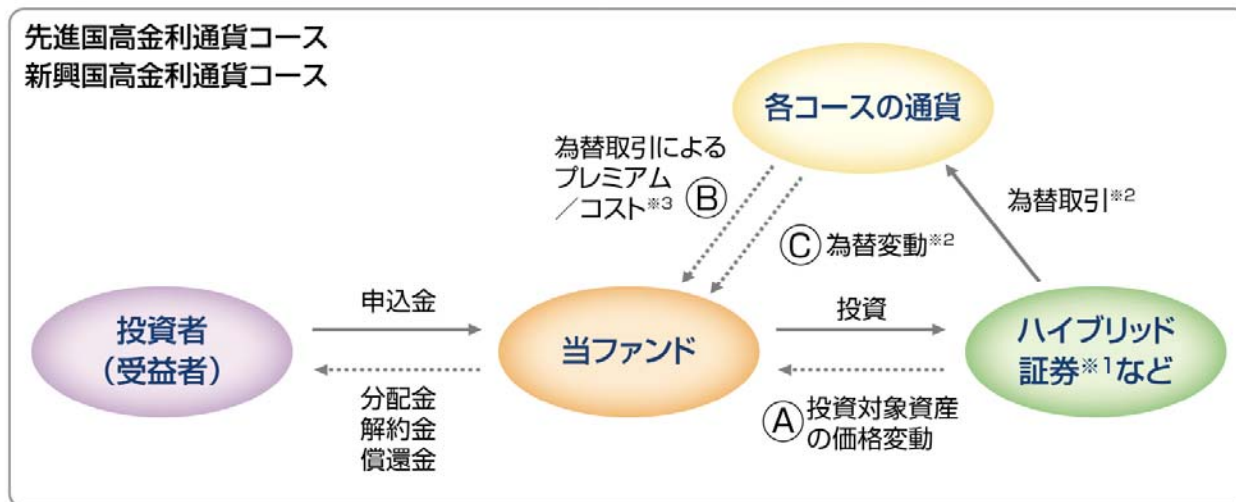
■当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

(「先進国高金利通貨コース」と「新興国高金利通貨コース」が対象となります。)

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(ハイブリッド証券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じてハイブリッド証券などに投資を行いません。
 ※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。
 ※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、後述の「リスク情報」をご覧ください。

	(A)	(B)	(C)
収益の源泉	証券の値上がり/値下がり	為替取引によるプレミアム/コスト	為替差益/差損
先進国高金利通貨コース	収益を得られるケース ハイブリッド証券価格の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの 原資産通貨の通貨の金利* - 短期金利* がプラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して円安
新興国高金利通貨コース	損失やコストが発生するケース ハイブリッド証券価格の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの 原資産通貨の通貨の金利* - 短期金利* がマイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して円高

*加重平均金利です。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主にハイブリッド証券を実質的な投資対象としますので、ハイブリッド証券の価格の下落や、ハイブリッド証券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】
【ハイブリッド証券への投資に伴うリスク】【業種の集中に関するリスク】**

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース／円ヘッジコース／先進国高金利通貨コース／新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

1. 主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。
2. お客様の運用ニーズに応じて、通貨コースをお選びいただけます。
3. 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(ハイブリッド証券)
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2024年8月19日まで(2014年10月1日設定)
決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.24%</u> (<u>税抜3.0%</u>)を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.766%(<u>税抜1.69%</u>)程度を乗じて得た額 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額</u> に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。